

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	執筆者紹介；第五十二巻第四号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1979
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.52, No.5 (1979. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19790515-0129

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆 者 紹 介

内 山 正 熊 法 学 部 教 授

宮 澤 浩 一 法 学 部 教 授

中 村 勝 範 法 学 部 教 授

石 川 明 法 学 部 教 授

加 藤 修 法 学 部 助 教 授

Peter Gilles
ハノーファー大学
教 授

片 山 克 行
拓 殖 大 学
専 任 講 師

第五十二卷 第四号 目次

論 説

オーストリア犯罪学の現状……………宮澤 浩一

——ラベリング論を中心として——

多数決原理とインテンシティ……………曾根 泰教

研究ノート

時機に後れた攻撃・防禦方法の却下の要件で
ある「訴訟の完結の遅延」の概念について……………石渡 哲

資 料

オーストリア刑事法学の一断面(追録Ⅰ)……………宮澤 浩一

判例研究

〔商法〕

〔最高裁判〕民事研究

紹介と批評

マンカー・オルソン二世著

『集団行動の理論——公共財とグループの理論——』

田 中 宏